京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年紀元二千五百七十年

本紙定價 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅錢▲三ヶ月前金九十錢▲六ヶ月前金一圓八十錢▲郵稅一ヶ月十五錢

月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）

廣告料金 ▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢

發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城西署西小門通（電話六六二）
發行所　京城新報社

株式賣買の手續（九）

株式小僧

▲直取引賣買注文依託手續

一賣買御委託に成行注文と指直注文の二種有之候間明確に御指示被下度候

一賣買契約成立の上は翌日（翌日休場日なれば其翌日）正午十二時までに賣渡物件又は買受代金を受託し受渡を結了する規定に付賣方は株劵若くは債劵の記番號を記載したる書面（名義書換を要するものは書換用委任狀）を添へ買方は買受代金御差入を要する譯なれば御注文觀ひの報告御落手と同時に以上の手順に據り御發送被下度然らざれば取引澁滯双方不尠手數と費用を要することゝ相成申候又た地方より御注文の方は上記の受渡が必らず遲滯なく遂げ得る時日を見越し御手配被下度物件又は代金を御發送相成らざれば折角の御注文も難取扱爲めに商機を逸する場合有之候へば此點特に御留意を要し候

一賣買契約の當日證劵を提供して引換に代金支拂ひ御請求の方に對しては國債に限り勉めて御希望に副ふべく御計ひ申し候但此の場合は二日間の日步御支拂を要し候

一直取引賣買は證據金を要せざるが通例なれども此注文の多額なる場合若くは初めての御取引なる時は御注文引受の節若干の證據金御請求申上ぐる事有之候

一直取引の立會時間は午前一回午後一回づゝ何れも定期立會時間より十分以前に開始致候

▲記名公債賣却の注意

一無記名公債は賣買手續至極簡便にして委任狀添付の必要毫も無之即座に御取引出來可申候へ共記名公債は國債籍の轉換を要し候に付少しく御面倒に候其手續は取扱店轉換請求書二通を是迄利子受取の銀行へ御差出に相成公債賣買店へは國債證劵と印鑑に市町村長の證明を受け賣渡委任狀相添へ御送り被下候はゞ無記名同樣の受授を致す可く候

一債劵及び社債劵類は無記名物を普通と致し候へば是又た賣買委任狀添付せらるゝ事なくして御取引可相成候但し記名物の場合には委任狀を添付せらるゝ事

關稅問題方針決定

（小村外相居据りか）

英國に對する關稅問題は或る意味に於て現內閣の致命傷なるべしとまで懸念せられ當の責任者たる小村外相の桂冠の外なかるべしと信ぜられ名を病氣に藉りて引籠り數旬に及び數日前には愈々三度目の大手術を要する爲め斯くては更に數旬政務を見る能はずとて辭職說盛んに外間に洩れたるが不可思議にも大手術を要すべき筈の外相は突然病氣全快を報じ一昨一日參內續いて出省外國大公使等と會見するなど前日とは打つて變つての元氣ある行動は頗る外間の注意を惹起せり是れ畢竟內閣の英國に對する關稅問題解決方針決定せるが故なりとて這間の消息に通せる一外交通の談に曰く余の確聞する所に據ると前月末任英國の加藤大使より小村外相に宛一封の長電到着したる趣なるが電文の內容は明に英國との內交涉成立を報じ外相をして愁眉を開かしめたる次第なりと信ぜらる是より先き外相の辭意を仄めかすに至らしめたる事情は既に公然の秘密なれども要するに桂首相と其議合はず首相は縱し在野黨の肉薄を受くるにせよ關稅改正案を議會に提出するか乃至は自由貿易國に對する追加條項を定めて英國との妥協を圖らんとする底意なりしが之を外相の立場より見れば自家の責任上斯かる成行に甘んじて閣員の班に留まるが如きは到底其肯んせざる所にして斷然辭職を申出でたるより首相も殆ど其處置に苦しみ一時は桂首相に於て外相を兼攝すべしとさへ傳へられたるが、目下藏相兼任を解くを許さゝの事情もあるやにて又一方には小村外相をして辭任せしむれば內閣の一角に缺際を生じ、延いては內閣の基礎に動搖を來たす虞もありとて圓滿主義の首相は頭日來熟議の結果、外相に讓步して妥協を遂げ、他方には加藤大使の長電に依りて英國側の內諾を得たる事情ありて小村伯頓に元氣付きさては出省政務を見るに至れる次第なり即ち首相が來議會に於て關稅問題に關する改正案を提出せざるは明かにして條約改正に際し條約締結上の權能に依り英國の要求を或る程度にて滿足せしむる意味に於て帝國の体面を損せざる形式を採る方針なりと

●平北方面の獸疫

平北道宜川地方に獸疫發生し病勢激しきものあるより平北道廳にては富田獸醫を派して情況を調査せしめたるに當初發生の際直ちに豫防法を盡さず斃牛の皮を剝ぎ賣却したるものありし爲め斯くの如く病毒四方に散蔓し遂に郭山郡に侵入し鴨江支流を挾み宣川の東西郭山北面の兩面に跨り停止する處なからしめたるものにて富田獸醫の檢病する處に依れば之れ等は何れも氣腫病にして一度び此病の傳染するや俄然元氣衰頽し時に鼻口より血液樣の液汁を露出するに至り二三時間にして腸部に浮腫を生じ苦悶甚しく早きは二時間遲きは一晝夜にして斃死するを常とし最も恐る可き病狀なれば此際同區域內に獸類を賣却の爲め出入する事を禁じ各自出入の際は石炭酸を以て消毒し且つ各戶檢病をなし河水を飲料に供せざる樣十分消毒を勵行し居れりと云ふ

和歌募集

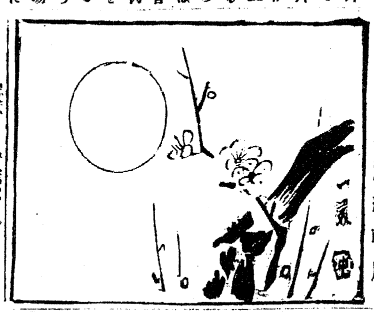
勅題「寒月照梅花」

選者　九皐館去留

何首にても隨意、用紙用箋類も又御隨意の事、締切期限十二月廿五日、發表は四十四年一月元旦の本紙上を以てす、同好の士奮つて投詠せられんことを希ふ

十二月二日

本社編輯局



◉新刊紹介

▲實業の日本（廿五號）　先づ口繪にある松方侯の金婚式と南極探險隊一行の寫眞版とが異彩を放つて居る、卷頭は新渡戶博士の「人生の目的は如何に解すべきか」の大論文を掲げ以下例に依つて趣味津々真に實業雜誌中の大王たり（東京々橋區其社發行）

▲東洋時報（百四十六號）　東京麴町區內山下町一丁目一東洋協會發行會費一箇月五十錢每月一回本誌發行

▲實業之世界（二十三號）　社長野依氏入監以來態度一變眞面目なる實業雜誌なり（東京芝愛宕町三ノ一實業之世界社每月二回發行）

▲財務彙報（第三號）　度支部發行

▲東京經濟雜誌　十二月三日一千五百七十一號（發行所東京々橋區彌左衛門町の七其社）

俳句

◎冬の句　秀峰

ひら子の高庵に來り即吟數首を詠す

旅としもなき鬢亂れ髮や小夜千鳥
古都暮れて半扉の僧や月寒し
門叩けは雪は洛外に靜かなり
橋畔や雪になまめく潮來舟
詩書抱て籠らん奈良の鐘の冬
御瞼にうるめる玉章の宵寒し
寒梅の槎枒として月斜めなり

京城竹枝

白衣黑衣寒風に行く鐘路哉
聖恩細屋に滿ちて大道の冬暖し



山中鹿之助

第三十回　西尾麟慶演

偖鹿之助は暫し見とれて居りましたがホウ〳〵の制し聲でありますから、脇へ寄て手を突て居ります、間もなく御輿物にれ召になつて、六尺が籠を舁げ今は刻み足になつて急ぐ樣子、既に日も西山に傾かんとする頃に相成つて彼方此方の木影よりして五人三人づゝ立現れ、其籠を前後左右より取圍み、三尺餘もあらふと云ふ長刀を引拔て、籠脇の武士二三人に傷を負せ供の人を皆追拂つて、其籠を擔ぎ逃やうとする鹿之助此の体を見て大に驚き世には狼藉もあればあるもの、恐れ多くも天皇陛下の御膝元にありながら斯樣なる亂暴なる奴輩のあるとは不屆なり、武士たるものが之を見て救ざるは勇なきに似たり、と直に立上り籠の棒鼻へ手を掛て 鹿「ヤア狼藉者此籠を何れへ持ゆくぞ、斯く申す某の目に止るに於ては汝等に渡す事は相成らん、籠をは此處へ置て行ッ」之を聞や惡漢ども○「邪魔する奴夫れ打て取れ」と無二無三に前後左右より切てかゝる、鹿之助物ともせず心得たりと籠を小楯に取り、菊一文字の一刀目釘を濕し、右手の方よ斬て來る奴を、ヒラリと体を轉じヤツと切返す一太刀に、肩先八寸ばかり切付けたり、ヨロ〳〵と後の方へ堂と仆れる、又も左手より切込んで來るを右手へと体を轉じ、同じく之を返す刀に面部を二三寸割つけたれば眼に血しは這入つて夫へ倒れる樣子、夫にも怖れず十二三人が切り込んで參りまするを鹿之助は前後左右に切倒し、縱橫無盡に切立ました、見る〳〵內に七八人を切倒しました其腕前にや恐れけん殘つたる奴は蛛の子を散すが如く逃げ去りました、籠脇に從て居りました者は皆逃去つてしまひましたが、乳母と見へまして籠脇に小さくなつて附て居りましたが、頓ての事に聲を出し 乳「誠に危ひ處をれ救ひ下され千萬辱けのふ御座ひまする、之に在する姫君は中御門中納言數之卿の姫君にて御座ります、之れを聞いて鹿之助ハッハッと首を下げ 鹿「是れは〳〵、斯かる高位の御方とも存せず失禮を致しました、此時彼の乳母らしき婦人は輿物の戶を開き 乳「姫君にはれ禮あつて然るべし 姫「かゝる危き所を御助け下され誠に喜ばしく存じまする 鹿「拙者は甲州武田の浪人山中鹿之助幸盛と申する者、計らざりき御目通り、眼前にかゝる禍ひ……併し惡漢どもは遠ざけまして御座れば御安心遊ばしまする樣」之を聞きました九重姫は大ひに喜びました 鹿「恐れながら斯樣な處に居られましては又もや如何やうの事あらんも計り難く、御供申し上げませうイザ御立ち……」とは申しながら九重姫には動悸の爲にワナ〳〵顫ゑて落着ません、た乘物かられ出ましになつてれ御足が進みません、側に附た乳母も足がすくんで居りまして步けません、鹿之助此の樣子を見て 鹿「ヤ、左樣なれば失禮ながら箇樣致しませう」と九重姫を脊負てれ舘さして參ります、スルと向ふの方より閧の聲が致して提灯が萬燈の如く見へます、何事なるかと暫し佇み見て居りますと、菊と桐と結ひ合せの御定紋は中御門家より御迎ひの人と見へまして、大勢の御家來方が拔身の槍を提げ此處へ進つて參りました 乳「アイヤ是に在するは姫君の危き處をれ救ひ下されたる御方なり、能く御禮申上げられよ」之を聞、一同 一同「ヤア姫君の危き難をれ救ひ下され千万忝けなし、シテ貴殿は……」と問はれまして 鹿「拙者は甲州武田方の浪人計らざりき姫君にれ目通りを致し、無禮を顧みず兩三名を切り捨て姫君を恙なく是迄れ供仕り候」と聞て一同驚き入り 一同「兎も角も御舘まで御出下されたし、是に依て鹿之助は御館まで御供を致しました、委細の事を彼の乳母より數之卿へ申上げました、數之卿之を聞し召されて大ひに驚きたまひ、併し姫に恙なきは何よりの事なりと御喜び遊ばされ、且つ山中鹿之助の天晴腕前ある事を聞かれ、殊の外御感服遊ばされまして、茲に於て鹿之助に御目通り仰付られ、且九重姫を妻に致すと云ふ喜び事は次回……



移轉と同時に業務擴張

熱烟に丸萬式の鋤燒を突く時機は來れり！

冬季の好伴侶は？下戶上戶共に鮮魚のチリを味ひ玉へ！

●見よ日の丸市場の大發展!!

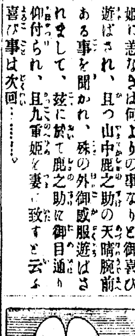
㊐魚市場

●見よ日の丸市場の大發展!!

南海の鮮魚一日にして北人の膳羞に上る

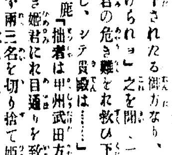
京城旭町一丁目歌舞伎座前
日の丸魚市場
電話一〇八一番

產科 婦人科 妊婦診察 產前產後の疾病
一般外科の診療（入院隨意）
川村病院主 正七位勳四等 醫學得業士 川村晋六郎
京城長谷川町二丁目（守備隊前）電話一四二六番



移轉廣告
事務所新築落成候に付左記へ移轉仕候
黃金町十八銀行支店向小路入（電話二二五四）
辯護士 岩田仙宗

芳醇無比



特約販賣店
京城本町四丁目
前田酒店
電話一三七

キッコーウリ
最上醬油
韓國仁川
日本醬油株式會社

東京電報（七日）

▲皇族財産令の發表　皇室財産整理委員會並に法制局の調査を結了したる皇族財産令は今七日の樞密會議にて御諮詢の上皇太子殿下を初め奉り各皇族を御召あり皇族會議に御諮詢あらせられ本月中旬頃に發表相成るやに洩れ承る

▲樞密院會議の開會　今七日午前十時山縣樞密院議長以下各顧問官登院樞密會議を開會皇族財産令其他政務の御諮詢相成りたり

▲政友會の違憲呼ばり　政友會は朝鮮併合に關して憲法上より見地を立て總督に制令權を委任したるは違憲なりとの議を委員會に於て決議したり

▲陸軍武官の移動　本年度の陸軍武官進級移動は既に一段落を告げたるが近々更に總督府附武官在外武官、陸軍大學校幹事等に補職する筈にて其結果三田聯隊長等の交迭を見るべしと

▲米質の選定改良　我國産米の種類は實に一千餘種にも達し中には品質劣惡のもの尠からざるより農商務省は各府縣の農事試驗場に命じて品質の選定中なるが各地方とも季候風土の異るによりて適不適あるより各地方に應じて其品質の改良を計る方針なりと

▲枝光製鐵所の擴張　同製鐵所は四年繼續千二百萬圓の豫算にて擴張する筈なるが明年度支出は二百萬圓にして右は鎔鑛爐一基及び附屬品の設備に使用するものにして第二擴張後は三十萬噸の供給力を有すべしと

▲大博覽會事務費　農商務省明年度豫算に於て日本大博覽會事務費四十一万三千圓を計上したるが右事業の工程は青山練兵場代々木御料地拜借地間の道路（七百四十間）の修築に止め事務所の建設は一時見合せ假事務所にて執務する筈なり

▲第三義勇艦建造　同協會は目下有地理事長會長代理に第三義勇艦建造の爲め九州地方出張中なるが明春は北陸山陰兩道方面より醵金して義勇艦を建造の筈なりと

▲山内侯爵の退職　退院後代々木別邸にて靜養中の舊土佐藩主陸軍歩兵大尉侯爵山内豐景氏は陸軍歩兵少佐に昇進し退職仰付られたり

▲曹洞宗管長交任　現任曹洞宗管長石川素童師は本年十二月三十一日任期滿了に付き明年一月一日よりは森田悟由師代りて管長に就任すべしと

▲撫順炭問題解決　清國の撫順炭從價五分課税に我政府は同意せり

▲重野博士の逝去　文學博士重野安繹氏は本日逝去したり

北京電報（七日）

▲清國借款の成行　清國借款五千万弗の細目交渉は米國側の代表者到着したるを以て清國は幣制整理に使用せんとするは唯一の目的にして其他港灣の修築教育費等の問題に關し米國より顧問説あるも未だ纏らず尚は交渉の終了迄には幾多の日子を要すべく但し借款の擔保及び利率に關しては大体に於て纏りたりと云ふ

伯林電報（七日）

▲伊國財政の良好　伊太利大藏大臣は議會に於て財政演説して曰く伊國財政の現況は頗る良好にして本年度豫算に於て五千百萬リラーの剩餘金あるを説明せり

▲土國外相の演説　土國外相議會に演説して曰く土國は三國同盟或は同約に對し友情を維持しルーマニア、セルビヤ諸國とは關係は良好なりと

雜報

群馬移民落着（上）（京城府廳の報告）

群馬縣移民五十餘名が途方に暮れ居る事は既記の通りなるが右は京城府に於ける種々動機に付き斡旋中なりしが左記の通り落着したりと云ふ

▲渡鮮の動機　渡鮮農民は從來養蠶及普通農事を傳來の家業として生計を營み來りたるに本年八月の洪水は其居村全部に被害を及ぼし殊に彼等の蒙りたる災害は頗る激甚にして桑園耕地は河川河原と變し只僅々住家の流失を免れたるの慘狀を呈し遂に向ふ十五箇年間免租せらるゝに至りたるも荒廢の極に達したる桑園耕地の恢復は容易の業にあらざるのみならず多少の收穫を見るに至る迄生活を維持するの餘裕あるなく善後策に付日夜鳩首凝議を重ね憂愁に耽りたる折柄東洋拓殖會社の朝鮮移民募集のことを傳聞し一同蘇生の思ひをなし忽ち郷村聰慕することに決し十月七日大字阿久津村より十四戸大字木部村より十一戸各一團を爲し田口紋之助、大谷楠藏を代表者として東洋拓殖會社に朝鮮移住の願書を提出したり

▲東洋拓殖會社との交渉并渡鮮決行　東洋拓殖會社に於ては模範的移住民を精選し本年度は二百五十戸を限り移住せしむる計畫なるを以て日本各地より應募請願書に就き適否を調査し本年十二月中に夫々諾否を決し本年二三月の頃移住せしむる順序なれば前記二團体よりの願書も他と同樣調査することゝし會社よりは十月二十二日彼等代表者に向け其旨を記し會社の承認以前渡鮮するの不可なることを懇篤通報指示し猶渡鮮模樣あることを傳聞し十一月二日「通知する迄立つな」との電報をも發したり一方前記團体員は十月七日移住請願書發送後は群馬縣廳及び當時群馬縣共進會に出張中の統監府職員に就き朝鮮の事情並に移住及出發の心得等に關し屢々説明を聽きたるに何れも會社の承認以前出發することは不可にして殊に冬期朝鮮に於ては農事は勿論其他の勞役稼業等も極めて閑散なれば就職困難なる旨を懇篤説示され又會社よりも前記の書面に接したることゝて一縷の光明を認め一時愁眉を開きたる彼等は又々前途の方針に迷ひ更に旬日協議を凝したる結果失業の儘來年二三月頃まで居村に徒食するに於ては縱令其期に至り幸に移住の承認を得るとするも出發の費用支辨にも苦むべく今日に於て多少の家財衣類を賣拂ひ斷然渡鮮の上來春農期に至る迄彼の地に在りて困苦窮乏に耐へ何等かの勞役を索め生計を營むの外なきものとし所謂徒手坐死せんよりは寧ろ進んで死地に投し活路を開かんとの決心牢乎として動かざる者阿久津村に於て十四戸出願者中九戸木部村に於て十一戸出願者五戸は愈々縣廳會社及隣佑の注意勸告を排し別表の如く家族を携伴して祖先墳墓の地を辭し十一月十四日京城の地に着したり

●全南沿海の難破船　近來全羅南北道沿岸は暴風波多く爲めに漁船の難破するもの頻々と絶えざる有樣なるが全羅北道濟州島居住張永煥外三名が乘組の朝鮮帆船は去る三日午前二時群山公園地下海岸暗礁に乘り上げて轉覆し一名溺死三名は身を以て免かれ歸れる由にして又全羅南道興陽郡浦頭面吉頭里より突山郡市場向け航行中の朝鮮帆船が此程正午頃突山郡玉井面白也嶋附近に於て暴風に遭遇したるより同船乘組の人員十名が必死となりて同沿岸に漕き付けむとする際俄然船体顛覆し三名は溺死し他の七名は同島に漂着し島民黃正白の爲めに救助せられ幸にして生還するを得たるが溺死せる三名の死体も後同島沿岸に漂着したるより嶋民は非常の同情を以て假埋葬に附し各遺族に引渡したる由なり尚ほ同船は突山郡市場に米穀大豆等の運漕をなし居れる由にて當日も同樣穀類を運漕し來れるものにて其損害額は凡べて六百五十圓なりといふ

●東萊療養所の設置　東萊溫泉が病後の攝養に適せる事は已に世人の認むる所なるが是に就ては前軍醫部長藤田軍醫監等も同溫泉の効驗且つ四邊の風致も療養所に適するの故を以て已に數回に療養所を開設し幾多兵士の健康恢復成蹟を見て今日に至るまで其効驗を大に賞讃し居らるゝ由なるが今回藤田軍醫監總督府醫院長に轉任し其後任として來任せられたる大西軍醫監も亦其意を受け過日東萊溫泉に赴き種々泉質其他四邊の形勝等取調べられたる結果愈々本年末か明年始めより療養所を設置し病後の兵士並に快癒に近きたる患者を送る筈なれば今後の東萊溫泉は更に一層の發展を來すべし

●鴨綠江の結氷狀況　鴨綠江の結氷狀況に就ては既に屢々報道したる處なるが尚は其の後の狀況を聞くに結氷後去る三日滿潮の際に於て多少の流氷あり當日一回の危險を冒し小船の渡航ありたるも其後は交通杜絶の姿にて朝鮮内地より安東縣行の貨物は目下新義州に於て大に堆積しつゝある趣きなるが今後同江に於ける結氷を見ると共に氷上通行を爲し得るに至るは尚ほ一週間以上を要すべしと尚ほ四日義州憲兵隊長より其の筋に達したる電報によれば中江鎭より上流の鴨綠江は所々結氷し清地より人馬の往來を爲し得るに至れりと

●咸北沿岸定期航路　咸鏡北道の沿岸に定期船を航行せしめて各沿岸の物資を清津及城津に集中せしめ以て陸上交通の不便を補ひ且つ低廉なる水上運賃を以て同地の産業發達に資せんとする事は前同道觀察使時代より主唱する處なりしが道廳にては今回愈調査の上實行する運に至るべき由なるが該計劃にして實施せらるゝに至らば又た直通航路の開通せらるゝに至り同地沿岸の魚類及大豆生牛其他の農産物は沿岸定期船にて清津及城津等に集中し同地より直ちに同地及浦汐に移出せられ同道産業の開發上一生面を開くに至るべしと

●新韓銀券に付注意　履記の如く韓國銀行新造一圓券は今十二月二十一日より發行し從來發行の銀行券と共に併用の筈なるが是れに關し昨日亥角保安課長は障害なく通用せしむるは其初期に際し行使上疑惑を生じ又は詐僞の手段と信するが如き虞れを抱くものなしとも限られざればとて同券見本番號二八七と説明書を各憲兵隊警察に送致し一般人民をして新券の樣式特質を知得せしめ其流通に支障を生ぜざるべく取計ふべき旨注意を與へたりと

●遭難漁民の救濟法　全羅南道智島郡の遭難漁民に關しては當局にて道長官と協議中なる由なるが其内容に付いて聞く處に依れば當局が救助を必要と認めたるもの四十二戸百五十五人にして一人に付一日金五錢宛の救助を與ふることに決定し此の方法により一ヶ月分丈取り敢へず地方費の内より支出することゝし一方木浦警察署長及び智島郡守等を現場に出張せしめて之れを配當せしむる筈なるが其後調査の結果被救恤者を增加する見込なりといへり

●高等女學校落成式　民團立の南山町高等女學校に於ては來る十日午後二時より同校講堂にて盛大なる新築落成式を擧行する事となり六日以來それ〳〵準備中なるが當日の來賓は約四百餘名なるべく是れに民團立各學校職員及び高女生徒二百餘名を加ふれば八百餘名の多數出席の事となるべし式後來賓には茶菓其他の饗應あり且つ紀念繪はがき一組（二枚）を頒與すと

●守備特科隊の出發　朝鮮守備特科隊にして滿期となりたるものゝ歸還せることと既報の如くなるがこれと交迭して來鮮すべき新兵は七日を以て仙臺を出發したりとの報あり尚ほ龍山に着するは來る十三日頃なるべく北朝鮮地方へも十四日頃着すべしと

●臨時貨物船の運航　毎年々末に於ては内地より朝鮮へ移入する貨物多きも本年は取分け多く下關に停滯し居るを以てこれが輸送の爲め關釜連絡船薩摩丸は連絡を廢し臨時貨物船として運航せしめたりと七日釜山着鐵道連滯貨物約五千個を搭載し來り

●李太王の貴族引見　李太王殿下には七日午後三時より德壽宮に於て雅宴を張られ過般貴族觀光團に加はりて渡日したる貴族一同を引見して觀光中の所感を聞こし召さるゝ

米穀輸出と仁川

度支部調査に係る明治三十四年以降に於ける米穀の輸出狀況及び其增減の事由を左に示さんに

年次	輸出數量	輸出價格
卅四年	四八八、一三三	一、四三八、九〇四
卅五年	一五九、七三三	六二七、九〇六
卅六年	二八九、三七三	一、二四九、九〇八
卅七年	三一、三五四	二〇三、五六〇
卅八年	一三一、三六四	六六三、六七一
卅九年	二二七、二二八	五九一、二〇六
四十年	五〇六、五五一	二、〇四二、二六四
四十一年	一六二、一四一	七二〇、五一七
四十二年	七六、四六六	三五四、六六五

以上の表に依れば明治三十五年は非常の減退を示せるが之れ前年稀有の旱魃による收穫の減少に加ふるに當年も秋初に至る迄天候不順人心常に憂惧に充されたりし爲めにして翌三十六年は秋收後年末に至る迄日露國交の前途に暗雲の横はり其輸出も捗々しからざりしも前年の收穫稍好況なりし爲め同年に好影響を殘したるに依るなり三十七八の兩年は戰役の爲め軍需米其他之に伴ふ臨時的需要增加の爲め甚だ振はず翌卅九年は一時的内國需要の減少に從つて輸出增加を示せるが四十年に入りては戰後漸く商況恢復し明治三十二三年頃と同樣の增加を見るに至れり然るに茲に注目を要するは四十一年以降の遞減にして從來當港の廻穀は單に忠北京畿及び忠南、黃海の一部地方の産のみならず忠南の南部全北の各産地より成は相換圓橋に來集せるもの多かりしも群山港の發達に伴ひ漸次同港に吸集せられ一方鐵道の開設と共に同沿線の米穀は釜山に移出せらるゝものを生じたる等の事由により當港の廻穀額大に減少したり加ふるに毎年輸出先たる阪神の米相場は日本の豐作續きの爲め甚だ引立たざりしを以て輸出商の如きは唯空しく手を拱きて機を待つの狀態也き

●西海岸の漁村計劃　今回朝鮮海水産組合にては西海岸黃海道松禾郡夢金浦全村の土地家屋を買收して朝鮮西海岸唯一の有望なる根據地を構ふる計劃中にて近く其實施を爲す筈なるが夢金浦は清國山東省と百餘里を隔てゝ相對する小乳靄角を北に去る三里にあり四方の避風に適する良港灣にして由來同沿岸附近は清國の東省沿岸の密漁船が大刀魚捕獲の目的を以て八十艘乃至百三十隻位每年出入しジヤンク一隻に付き八百圓乃至千六七百圓の漁獲を得たる根據地なるが當時日韓政府にては此の漁獲船を絶對に驅逐するに努めたる爲め今日に至りては二十年來多大の勢力を有せる清國密漁船は更に片影だに認めざるに至れり斯くの如き良根據地も其後空しく放擲し置くは甚だ策を得たるものに非ざれば水産組合にては鎭南浦水産會社と協議して漁村計劃を企て昨今着々其の緒に就きつゝあり其漁業方法としては日清漁夫の長所を折衷研究中の由なるが移住漁村として唯冬期二ヶ月間漁業に從ふ能はざれども同地方は有名なる麻の産地にして其品質佳良なるのみならず其需要は仁川鎭南浦に多く内地より移入せらるゝものよりは遙かに優り其價格に於ても三割方安値に仕出し得る第四季中殆んど閑暇無き程生業に從事し得物資の供給も亦充分なるに依り西海岸に於ける漁村として唯一の根據地たるを得べしと

●税制調査委員增加　民團の税制調査會に就ては昨紙報道する所ありしが同會は頗る大規模にて其調査に從事する計劃の筈なれば委員十名位にては其規模に副ふ所にあらずとなし更に五名を增加するに決せり尚は人選に就ては民長既に取調濟となりたれば今明日中其囑託を發表すべしと

●關屋局長視察日程　學務局長の平安南北道に出張せることは既報の如くなるが其後の情報に依れば氏は六日新義州に到着し七日より鐵道沿線の各地方學校の視察を開始し來る十五六日頃歸任すべく宇佐美長官とは途中にて分離すべしと

●古城民團長の歷訪　本日午前十一時古城民長には府廳道廳内務部等を歷訪し各長官及び主任者に面し民團問題に付き各數刻の談話を交換せり

●花田節氏の出發　花田節氏は七日午前九時南大門發列車にて出發東上の途に就く停車場迄見送りの盛んなりき

●山田技師の入京　鴨綠江建設事務所山田技師は七日夜新義州より入京す

公人私人

▲富石歡一（步兵大尉）　六日大邱より入京巴城館に投宿
▲山岡義三郎（釜山税關長）　六日釜山より入京浦尾旅館へ投宿
▲矢野久三郎（鎭南浦税關長）　六日釜山より入京浦尾旅館へ投宿
▲野中耐（元山税關長）　六日釜山より入京不知火旅館へ投宿
▲古川誌編（會計檢査官）　關、岸田兩書記を隨ひ昨六日仁川より入京巴城館へ投宿
▲神崎一作（神豐本局幹事）　六日新義州に向ふ

相場電報（七日）（明治町西村支店着電）

▲大阪株式（二月限）

	前場	後場
▲神戸電鐵 寄	三八、四〇〇	出來不申
引	三八、五〇〇	三八、四〇〇
▲京坂電鐵 同	六〇、三〇〇	五九、八〇〇
同	六〇、一〇〇	六〇、〇〇〇
▲鐘淵紡績 同	一〇五、一〇〇	一〇五、八〇〇
同	一〇五、九〇〇	一〇五、二〇〇
▲日本郵船 同	九八、四〇〇	九八、〇〇〇
同	九八、五〇〇	九七、五〇〇
▲東京株新 同	一三五、七〇〇	一四五、六〇〇
同	一三六、三〇〇	一三六、二〇〇
▲大坂株式 同	一四三、三〇〇	一四二、七〇〇
同	一四二、八〇〇	一四三、七〇〇
▲同直取引 同	一四一、七〇〇	一四一、三〇〇
同	一四一、五〇〇	一四二、六〇〇

▲大阪期米▼

▲前場●十二月寄十四圓五十六錢止▲一月寄五十七錢止▲二月寄八十六錢止
▲後場●十二月寄十四圓四十九錢止五十二錢▲一月寄十四圓五十二錢止五十九錢▲二月寄十四圓八十二錢止八十六錢

▲仁川米豆取引▼

▲前場●一月寄九圓四十九錢▲止四十九錢▲二月寄九圓四十八錢▲最高四十九錢▲最低四十八錢▲止四十九錢
▲後場●一月寄出來不申▲二月寄九圓四十八錢▲最高六十一錢▲最低四十八錢▲止六十一錢

▲東京期米▼

▲前場●十二月寄十五圓〇四錢▲一月寄五錢▲二月寄三十二錢

▲仁川港の船舶出入▼

△三笠丸　八日大連より入港
△香椎丸　同唐津より入港
△木浦丸　同大阪より入港
△君が代丸　同大坂へ向け出港
△三笠丸　大坂へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客　六日の分如左
乘車客　五一七　下車客　八一四
乘車賃金　一二〇六、四四
▲南大門驛荷物扱高　六日の分如左
發送　四九噸　到着　五五四噸
發送賃金　九四七、六九
▲龍山驛の乘降客　六日の分如左
乘車客　一七七　下車客　二〇二
乘車賃金　二五四、四五
▲龍山驛荷物扱高　六日の分如左
發送　五噸　到着　一八九屯
賃金　一九、二八

▲治外法權▼

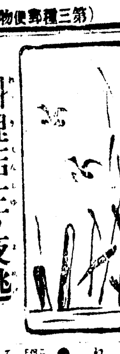
今日も又民團の事に付て書くが、何しろ問題が移住民の利害に直接關係することゝ故、現在の如くんば一日でも書かずには居られぬ▲總督府内務部長官に向かつて古城民長が民團存廢に關する伺書を出したのは至極當然の措置だ、併し宇佐美長官には右伺に對して何も指令は出來まい▲民團議員資格の有無に付當局者は九月七日付統監府令第五十七號（引續き當分の内在任するものと見做すと）を楯に有資格を主張するソウだが、斯は當局者の見解が違つて居る▲一体民團議員は民長とは違ふ、民長は官選だから、其在任期の如きは當局の方で看做す樣にドウにもなる、併し民團議員は素々法律が與へし權能に因つて人民が委任事項と任期とをキメチ選出したものだ、されば任期が滿つれば無資格者となるのは當り前だ、此場合に幾ら當局の方で有資格者と見做すと云つたところで選擧者の方で有資格と見做さなければ夫迄の事だ、總督府の法通石塚、中山、荻田等はドウ思ふか▲群馬縣からの移民が一時問題になつたが、大庭府尹等の斡旋に因つて都合良く片附いたのは結構な事だ▲一体今の京城は五十や百の移民が來たからと云つて饑餓問題などの起るべき筈はないのだ、夫れを物々しく騷ぐのは好事の輩のことだ、噫好事の輩、汝等は我京城の經濟力を解して然るべしだ▲本年は總督府の官吏に年末の賞與がないそうだがコレは甚だケチで亦た慘酷な事だ、先づ遣るものは遣つてソウして使ふが良い、年末の賞與位知れたものぢやナイか▲年末と云へばモハヤ年末賣出しがボツボツ始まつた樣だ、思ふに本町筋の聯合大賣出しはあまりに月並式だ、之れは何とか變へるが良い。

●江原道地方の近況　江原道寺平警務部長は目下管下巡視中にて兩三日前襄陽[…]注文津を經て江陵に着したるが同地方の近況を云ふを聞くに民情極めて平穩にして只水害凶作被害而顧の爲め[…]部落民集合する頗る多く種々陳情す[…]死に角同道[…]は職業に稍厭す[…]せり兩班儒生の恩賞漏れ[…]て郡守に再査を迫るゝの多數なれど三四郡守の意見を徴したるに今此願意を採納するは[…]致せるを見る江陵官民の歡迎會へ臨たるに禮洞唯一の豪農李某と懇談するの機會を得しが其談話の一節に曰く管[…]は從來排日思想を把持せるも併合の今[…]國家の爲に忠實を盡し鮮人の指導に盡すべく若し政府に於て地方細民窮者は勿論一郷の沈衰を救恤するに其道なしとすれば不肖微力ながら自から進んで[…]其熱誠面上に溢れたりと

●水産組合事業方針　朝鮮海水産組合明年度の事業方針に就き大原副組長の意見を聽くに大体に於[…]緊縮し其の緊縮したる經費を以て力を今一層海上の開發調査に注がん希望にて斯の希望は自分が就任當初より懐抱せる所なり[…]も豫算の都合上未だ是を[…]豫算には是非共是等の經費を計上し大に朝鮮沿海各方面水産業の發展を企圖せん覺悟なりと云へり

●江原道地方の近況

江原道寺甲警務部長は目下管下巡視中にて兩三日前襄陽、注文津を經て江陵に着したるが同地方の近状と云ふを聞くに民情極めて平穩にして只水害凶作被害請願の爲めに部落民集合する頗る多く稍々險惡なる所[illegible]は職業に精勵す[illegible]せり兩班儒生の思想潮れ聊か[illegible]郡守に再翻[illegible]査を迫るもの多數なれど三四郡守の意見を徴したるに今此願意を採納するは[illegible]致せるを見る江陵官民の歡迎會へ臨[illegible]たるに總洞唯一の豪農李某と懇談するの機會を得しが其談話の一節に曰く[illegible]は從來排日思想を把持せるも併合の今國家の爲に忠實を盡し鮮人の指導に盡すべく若し政府に於て地方細民窮者[illegible]勿論一郷の沈衰を救恤するに其道なしとすれば不肖微力ながら自から進んで[illegible]其熱誠面上に溢れたりと



料理店主の夜逃

▽都合の好い要求條件

過日來本紙に連載したる『頗る甘い小料理店主』なる記事末項に畑君一派の運動員が極力各小料理店を軒別に訪問し桃山へ移轉同意書に調印を求めつゝあることを記載したるが右交渉に對し西小門通り料理店組合は左の移轉要求條件を提出したる由なり(原文のまゝ)

桃山へ移轉に付要求條件

一 通行の便を謀る事
一 瓦斯會社に交渉し日本銀行前より桃山迄の電車賃を五錢とし午前三時迄通行をなさしむる事
一 酌婦入替は從前の通り向ふ三ヶ年間其儘に爲す事を其筋へ請願し許可を受る事
一 移轉後は向ふ一ヶ年間相當家賃の半額になす事
一 移轉の資力乏しき者には其身分に應じ相當の金額を貸與せらるゝ事
但し返濟方法は月賦償還の事

右の條件交渉濟の上は何時にても桃山へ移轉請願書に捺印する事に決定す

西小門通料理店組合印

是に由りて此れを觀るに頗る勝手の申し分と云ふべし猶は既記畑君の一味に加はりし總組長長谷川[illegible]一(君の江)は十一月十三日副總組長岩間房太郎(長笑)は同月二十日委員鶴田織馬(寶定庵)は同月二十一日孰れも夜逃げ同樣行衛を晦ましたる由なるが本社の偵探する所に依れば同人等は目下永登浦に潜伏中の模樣あり更に二葉亭廣津由太郎に至りては畑君より二ヶ年間地代並に家賃の無料貸附の契約ありて終始奔走したる旨判明したるにぞ某々一二三者の爲に撲ちのめされ結局謝罪したる由なり

●韓銀一圓券發行

韓國銀行條例に依り韓國銀行より發行する韓國銀行券の內新造一圓券は來る一日より發行し從來發行の銀行券と共に障害なく通用せしむる旨昨日の官報にて布告せらる寸法は竪二寸四分五厘にて横四寸三分、用紙の中央に横楕圓形の空白を存し其の中に李花及大極(巴の凸漉)あり表面の文字並に上模樣は濃綠色、地模樣は暗紫色にして紙面には總て淡橙黄色の細き線を印刷しあり印章及び記番號は赤色なり裏面は文字並に上模樣は濃き橙黄色にて地模樣は淡黄色にして印章は表面同樣赤色也

●朝鮮婦人の轢死

六日午前九時南大門發列車が午後六時頃京釜線鷺梁津驛を距る北方約半哩の地點を運轉中朝鮮婦人一名機關車に觸れ即死せり死体は警官立會の上其夫に引渡す

●名力士谷風二代目

▽駒ヶ嶽改名と襲名

大關駒ヶ嶽國力は愈來一月場所より昔しの横綱力士谷風梶之助の名跡を襲ふ事に決したる旨は曾つて我紙の報道したる如くなるが愈々同人巡業先より東京協會事務所に屆出でたり同力士は宮城縣遠田郡涌谷町の産にして大力士谷風とは同國の縁故に依り顧客の某々等が勸めて襲名せしめたるなり今や嶽ヶ駒元氣旺盛にして西方大關太刀山と對峙すべき技倆を備へたれば來る一月の國技館は其の改名に依り一層天下の好角家を引附くる事なるべし

●横領事件の公判

東京府士族當時京城明治町四十九番地服部寵之助は曾て朝鮮人金東鎮外三人より度支部へ事業請願書並に納付金を依頼され數回に數百圓を預りたるを横領費消したる事件其筋に檢擧され檢事局に送られし事は既報の如くなるが該事件は昨七日京城地方裁判所刑事部法廷に塚原裁判長河村檢事の係りにて開廷被告辯護人として大久保高橋三辯護士出廷[illegible]の審理に被告は犯罪事實を否認し横領金は手數料其他の謝金にして[illegible]受納者[illegible]申立て辯護人より證人八名の召喚を申請したるも檢事は其の必要なき意見を陳べ一應閉延したり

●遣つた金を返せ

仁川松坂町二丁目木村組仲仕濱田彦太郎(二三)は六日午後二時頃木村組より給料を受取り其足にて京町二丁目料理店光月に至り十二圓を出し此れを預け置くとて酒肴を命じ同九時頃まで遊興し居り一先づ勘定金六錢を仕拂ひたる後又も一圓程飲み續け泥醉して京町派出所に來り前記の次第を述べ預け置きし五圓を返却して貰はんと訴へ出たるより取調べたるに既に五圓の中一圓は酌婦に祝儀をやり三圓は正に受取りたるも泥醉し居ることとて前後忘却しイ訴へ出たる事と判り說諭放還せり

●執行猶豫の恩典

山口縣玖珂郡柳井津町三千百十二番地當時龍山老松町萩本卯吉(十七)は木浦東海岸通り三丁目松村力松方寄食中同家雇人沖田新吉所有の羽二重長襦袢一枚を窃取入質したる事件は昨七日京城裁判所に於て懲役二ヶ月に處せられ執行猶豫二ヶ年の恩典を與へられたり

●宮島又平の事件

宮島又平が仁川に於て某々二三の辯護士事務員の如く裝ひ他人の債權取立に從事中數百圓を横領費消したる事件は昨七日京城地方裁判所に於て公判開廷被告辯護人として木尾岩本兩辯護士出廷辯論終結言渡は次回開廷に宣告す可しとて閉延したり

▲鯨料理▼

味噌煮 肉の纎維を横に薄く短冊形に切りれ味噌に砂糖少しばかり入れ葱牛蒡芋の類を取り合せてたきます、れ醤油をれ混ぜになる方も御座いますがれ味噌ばかりの方がやさしうて宜しう御座います、其調理がうまく出來ますと牛肉に少しも劣らぬうまみを持ちます▲煮メ 前の樣に切りました肉を大根、葱などと取り合せ砂糖を入れ少々れ汁の多い位にれ醤油でたきますれは總菜には極くれ恰好です▲燒肉 肉を少し大形に切てれ味噌へ半日位漬けましてれ味噌のついた儘を串燒にいたします、又れ砂糖醤油の付燒も宜しう御座います▲其外鯨肉のれ刺身◎味噌汁◎難波煮◎洋食では牛肉の代用になります、又赤肉を煮てつかひまするに切た肉を始め寸湯煮にして上脂を除て後れ用ゐなさる方も御座います

●酌婦苛めの處刑

熊本縣人畑[illegible]當時田久殿が元太平町料理店(○○)方酌婦當時中之新地開盛樓娼妓寺藤はる(二三)と[illegible]係を結び手切金と稱し金二十五圓を騙取したる他二葉亭酌婦等よりも恐喝取財したる事件は當時既報の如くなるが該事件は京城地方裁判所に於て審理中の所昨七日懲役八ヶ月に處せらる

●朝鮮人の花合戰

仁川內洞十統八戸高仲泰方同居朴春一(三)同洞朴聖集(三二)同姜上基(三三)金三用(二三)の四名は六日午後八時頃內洞十二統一戸鄭光玉方溫突にて門戸を閉し花合戰を爲し居たるが警官に踏み込まれたるを知り大に狼狽し逃走せんとしたるも遂に取押へられ花札七十七枚と銅貨十八枚を押收拘引せらる

●朝鮮社員の横領

元朝鮮雜誌社員旭敬次が在社當時朝鮮古書豫約募集に從事中金二百餘圓を横領費消したる事件は昨七日京城地方裁判所に於て懲役六ヶ月に處せらる

●竹本皆登太夫の披露淨瑠璃會を聽く

琴城生

△御祝儀●如柳氏皆登太夫の糸にて八陣八ツ目を勸む評なし△十種香●如鶯氏糸同人にて首尾能く演了但し籠內にはいさゝか惜しかりし△野崎●まさご氏糸奈良梅の善なるも師匠遲刻の爲め才六代りて無難に演りたるは老練なり△日吉三●如柳氏本來菅原松王屋敷を演ずべかりしに是又師匠奈良梅不參の爲め俄かに變更すると才六代勤したる爲めか呼吸の合致を缺き聊か聽き苦しかりしは是非もなし△柳の奥●山若氏奈良梅連の古株にて無論同人の糸なるべきも前同樣の爲め吉評代勤「和田四郎」の出より飛々に段切り迄無難に演了せり△柳の前●登雀氏糸皆登枕より「あはれ」までにて切りたるが新參の人としては上乘の出來勉強せば大に望あり△忠臣藏六●勘平腹切り大さい氏糸龍にて何れも進步せり此人近來メッキリ進步せり稽古に勵み居るの功師匠の門に出入し△[illegible]●さらい氏糸吉評にて難なし△太平記九●志樂氏糸才六に聽きたるよりは進步△玉藻前三●[illegible]此人近來稽古は休みがちとの事なれども[illegible]

[illegible]の次ぎなるも代りて節を語れり近來後[illegible]多の演者を觀るに我れがちに天狗となり成るべく與を語りたがる惡弊あるにかゝはらず此推擧に出でたるは斯界に[illegible]美事にして亦た子自覺の明あるに感服す△酒屋●馬昇氏糸才六此人[illegible]勉強は京城有數の老功從つて人氣あり當夜は音聲に故障ありて充分伎倆を發揮し得ざりしは遺憾最後に『サワリ』を聽かせよと注文ありしに近日壽座の納會まで待つてくれと斷りたるは滑稽なり△合邦ヶ辻●梅壽氏、糸奈良梅此人は平生聲自慢の方にて語り物に依ては相當に出來ばいのものもあるが當夜は後に馬昇氏と皆登太夫を控へたる爲めか更に引立ざりしは氣の毒と申す外なし其聲の微してもれ出場を選むは最も肝要なるを感じたり次に馬渡如柳氏の紹介挨拶にて皆登太夫檀上に出で一應の挨拶了りて語り出す△寺子屋●皆登太夫[illegible]

[illegible]士●傳●赤垣●筑紫共糸才六此人の赤垣は最近皆登太夫より稽古したる由なるが手に入つたもの[illegible]初舞臺の赤垣)として聽き答へ[illegible]

夫、道が[illegible]は素人離れの所ありて群を抜ける是非もなし『調子』低き方なるが[illegible]『源藏』が[illegible]

●新年休養會の主催

本社は來春早々溫陽溫泉に於て新年休養會なるものを主催する計畫中なるが其の趣意は多數一所に會して而して費用を節して愉快に遊ぶと云ふにあるのである新年と云へば誰れしも休むことか多く會飲會食に夜を更すことの機會が多い從つて健康を害することが多い此れは折角の正月をダイなしにするものと云ふべきである然るに此の閑暇を利用して入浴しつゝ集團的に經濟的に衛生的に休養すると云ふのである此れは社交上にも又尠なからぬ利益あることゝ信ずる計畫の委細が追つて發表されたならば乾度歡迎せらるゝであらう

●水産組合事業方針

朝鮮海水産組合明年度の事業方針に就て斯の希望は自分が就任當初より懷抱き大原副組長の意見を聴くに大躰に於せる所なり[illegible]緊縮[illegible]其の緊縮したる經費を以て力を度豫算には是非共[illegible]今一層海上の開發調査に注がる希望に大に朝鮮沿海各方面水産業の發展を企圖せん覺悟なりと云へり

[illegible]は來る十日より三十一日迄なるが景品總高万五百圓にて一等四十圓四十本二等二十圓四十本、三等十圓四十本、四等五圓四百本、五等一圓四千本にて以下一本も空籤なしと云ふ

●三越の出張販賣

三越吳服店にては七日八日の兩日仁川竹園館樓上に出張し期節柄大販賣を爲す由なりと

●釋尊成道會

花園町曹洞宗日韓禪寺にては八日午後一時より大聖釋迦如來出山成道に付法要並に說教あり尙ほ一般參禮者へ五味粥の接待あり

▲平民文庫▼

▲某辯護士の辰子の身受の起りしは同業者の大中の惡業とかの事左樣ならば其の大きい人中の人は同僚の爲めを思はぬんこんな人は德義に反した人の兒を賊した人、某さんの唆かされた阿呆さは勿論だが折角眞面目に働き人を痛めたる大中さんなる人は其の罪は大なるもので他の辯護士は中々少々の謝金では引受けて辯護しません社會の爲め貴社にて特別裁判所で大に筆誅して大罪に當てゝやつて下され(告發生)▲小僧檢事の係りにて豫審に附す(係)▲薩摩琵琶を識りたい人は明治町二の十三薩摩琵琶教授所まで(護受度生)▲水原守備隊の御用菓子屋の馬鹿者が玩具より自轉車で大道を我が者顔に乘り廻しンも不完全なる價額一圓五十錢のナップて駄法螺を吹き通行人に迷惑をかけ其都度已が罪を他人の不注意とか道路の惡しきに嫁して只の一度も謝罪せない不注意な奴だ後悔かないと三十棒を喰はすぞ(通行人總代)▲明治町金光[illegible]隣りにヨボの煙突をズット[illegible]塲の煙突を巡査さんに[illegible]市內目拔の場所[illegible]

失酒色の害を戒む△三碧 談判交渉裁判紛議の事に吉他は差控への事△四綠 談判紛議諸事謹愼ノ事殊に取引金品授受貸借金談尤も間違ひ易し△五黃 世話保證事及共同組合協約婚談を禁ず其他[illegible]んで差障なし△六白 疾病衛生、留意の事其他大抵吉農業礦業に尤も妙△七赤 雇入れ及子孫の事を擧ぐるに急げ其他大凡吉△八白 檢査監督調合視察相談會商に吉他は中凡△九紫 接見會商協約協定婚談に吉雇入れ及兒女の事差控ゆべし

社告

▲高等記者二名採用

希望者は履歷書携帶來社せらるべし但し確實なる身元保證人を要す

十二月 京城新報社

廣告

廣島名物 かき料理 並にかきめし

京城永樂町二丁目 赤門前 幾代 電話千九十二番

生かき小賣致候に付多少に不拘御一報次第持參可仕候間御用命奉希候

植字一名至急入用

京城本町一丁目 北內紙店印刷部 電話千百五十二番

寫眞器

東京神田區通新石町大通 合名會社 進々堂本店 長電話本局百十三番 圖解目錄郵券四錢 新古交換 (幻燈器目錄郵券二錢) 振替口座一八九二四番

●滊車滊船の便は他に比なし▲誠實なるは弊館の特色

仁川停車場前 稻田旅館 電話二四番

內科小兒科 診察時間 自午前八時 至正午 京城明治町

土地建物貸鑛山株券賣買 小林藤商店

貸家管理の囑托を受く 一百町除の果樹園適地買入たし 田、畓、山、金銀、黒鉛鑛買たし 商品其他擔保に貸金す 市外田畓山林未墾地鑛山賣物あり 市內家宅賣物數多あり

京城明治町[illegible] 電話六五五番

諸建築ペンキ塗請負業 永樂町二丁目 渡部正美 (電話一〇二八番)

裁縫割烹教授所 規則書御入用之方は郵券二錢封入之事 京城大平町(神田組前) 野村さわ (電話一四二〇番)

諸看板製作 油繪肖像畫●硝子金文字入 ペンキ塗工事大勉強請負 永樂町二丁目 赤門通り 椹

●諸公債諸株券 現物賣買、迅速確實に御取扱可申

飲料水井賣却廣告
一所在地 仁川花町二丁目
右井水は仁川に於て六ヶ年間土民の飲料に供し尚酒、醤油、味噌、味甘水、ラムネ等の製造に適し純良なるは世人の認むる處なり今回都合により現場のまゝ賣却致し度候に付希望の方は下名へ御來談下され度候
仁川花町三丁目 木下吉助

弓打綿 製造販賣元
新花綿荷着に付八十日付製造賣出、並に古綿も弓にて打直し致します
京城本町七丁目（郵便ポスト前） 取次電話千五百二十番
深堀製綿所

質
本町一丁目裏通り 支那領事館前
商商店 電話一〇九六番

◉貸金 旭町二ノ一五別府組車帳場筋向小路 高橋
有給者にて極秘密に低利融通可申候

瓦斯コークス販賣
京城南山町三丁目百十四番戸
酒井組 電話一一四九番

開業廣告
一金錢貸借、土地建物鑛山株券の賣買
其他一般の仲介
右營業を開始致候間何卒御用命相成度此段相願候
京城新町三丁目二十四番戸
岡田幾三郎

恩給年金 長期立替
確實取引月一歩五厘
京城中部壽進坊相思洞廿九統七戸下宿業博多屋方
上州屋出張所

純良消毒牛乳
京城東四軒町
岡野牧場 電話千六十九番

入院隨意
京城西小門通六番戸
菅醫院 電話一三一五番

眼科
日曜及祭日は午後二時迄
京城本町一丁目憲兵分遣所前
江頭眼科醫院 （電話三十三番）
前漢城病院眼科部長 醫學得業士 江頭富雄

御進物用
鰹節 銘茶

弊店儀各位の御引立に預り日に月に盛運に赴き候段偏に華客の御賜と御禮申上候就ては愈々年末に際し各贈答用に適當の本場精撰鰹節各銘茶澤山着荷仕候に付此際各位の御愛顧に酬る爲破格の大勉强仕且つ御便利の爲商品切手も調進可申候間多少に不拘御注文の程奉願上候
銘茶鰹節卸小賣商 仁川宮町二丁目
青嶋商店 電話七〇九番 振替口座京城六〇番

和洋金物商
（彦） 佐野彦藏商店
英米煙草會社京城代理店
千代田相互保險會社京城代理店
京城本町貳丁目
涙〆板洋釘、垣用線、銅眞中板亞鉛板各種銅眞中線並に針丹線各種土工用具農具一式
仙德火鉢鑄物火鉢各種生花用具一式
建築金物一切其他鍋釜鑄物類一切
電話一六三 振替口座韓國一二〇番

米澤糸織
米澤屋
此度家元より直取寄せ廉價に販賣仕候間御用命仰付被下度願上候
仁川京町郵便所筋向
佐藤商店

幸福なる生涯を營まんと欲せば先づ身體を强健にせよ
身體の强健を希望せば必ず
蜂印香竄葡萄酒を飲用せざる可からず
類似品あり
蜂印に注意あれ


然り本酒は身體の健康を助長する無二の滋養供給者にして如何なる虚弱者と雖も不斷之れを飲用せば心身共に快活を覺えて眞に歡樂の境に活動する事を得べし
東京日本橋本町
近藤利兵衛

人力車引越其他諸荷物運搬請負
西小門内
西門組 電話一一七七

開業十五週年新築落成
四方の御得意樣益々御機嫌能御座被遊奉恐悦之至りに奉存候陳者今回貳丁目に新築致し御客樣方の御意を伺得るしこう仕り席御料理に丁字風呂をわかし清けつなる料理と親切と勉强を以て御注文に應じ安價をむねと致し候間何卒舊に倍し皆樣方の御引立を伏て奉願上候敬白
壽町會
御會席 御料理 丁字風呂
壽町貳丁目
有明樓 電話七百三十八番

京城南大門
力 辻本嘉三郎 電話六四一番 本宅旭町一丁目
丁 池尻林太郎 電話三五一番 振替口座
仲買人 一同
一弊店等日鮮合邦の便利に付左記へ假新築候且弊店等の店前には小賣に係らず勉强營業仕り御取揃へ極便利に有之

新築開業御披露
京城本町一丁目裏通支那領事館前
京城湯
毎日午前六時ヨリ朝湯開始 水道水を使用

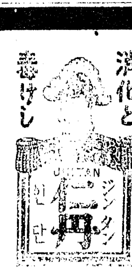
歳末年始の御贈答品に付ては何卒一度御一越の上一大陳列場を御隨意御一覽被下度品揃と確實とは弊店の特色に御座候
洋酒食料品 紙卷葉卷煙草 化粧品類
直輸入
尙種々見切品も有之候
京城大漢門側
エル、ロンドン商會
電話九九五番
○歐米商品は何品によらず薄口錢にて輸入御取扱仕候

上酒 小賣壹升に付三十錢 卸賣は特別割引可仕候
淸正 醸造元 政宗 正則
清酒味淋燒酎醸造元 並に日用食料品雜貨類
京城壽町三丁目
中井酒造場販賣部 電話百七十七番
電話にて御注文の際は一升以上は店員をして速達致さすべく候

胃腸新藥タカヂアスターゼ
滋養劑グリコナール錠
緩和下劑カスカラ糖衣錠
其他各種藥品
發賣元 東京市 三共合資會社
朝鮮總代理店 仁川 竹田津三平

義齒術一般
京城明治町一丁目（森、村質店隣）
榊忠司 取次電話六六九番

増築落成
高等御下宿
京城西小門通り
横松館 電話一五五番
各室淸潔洗湯設備あり舊倍御愛顧之程奉願上候



消化と惡げし快々として樂まぬ人仁丹飲めば心底より愉快になる
▼逆上さ ▼便秘と ▼體毒には


梅毒新藥に限る
代理店 京城 新井藥房

和洋
新案 ㊈ 堅牢で廉價な〔九〕たび
一丁目 店

●酒精着荷
當店直輸入酒精アルコール久敷品切の處今月十六日多數着荷に付何卒不相變御引立被成下候尙今後は毎月續々輸入可仕候間再びかかる品切等の御迷惑は相掛不申茲に謹告候也
仁川港花町一丁目
坂倉支店

齒科診療
仁川本町三丁目逝南入三階建
成蹊堂齒科醫院

眼科專門
京城本町六丁目（別府温泉横手）
金井眼科醫院 （電話一五五六番）
前大韓醫院眼科主任 帝國大學選科卒業
金井豊七
診察時間 午前八時より午後六時迄 午後二時より午後六時迄

營業科目
和洋紙類 印刷附屬品 印刷インキ 和洋書籍 防腐アシン 穀物食鹽 諸雜料類
發賣販賣
東京ランバード商會代理店
東京中外アスファルト株式會社代理店
東京千代田生命保險相互會社代理店
東京博文館發行書籍特約店
東京金港堂發行書籍特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目（電話三〇番）
出張所 京城南大門通一丁目（電話新橋三九六番）